

医学データからの知識発見

Knowledge Discovery in Medicine:

Some Attempts in Practice and an Integrated Approach



河崎 さおり

知識科学研究科

2011 6/28 (火) 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 1F エントランスホール

医学研究や臨床を通じて病院の医療情報システムや遺伝子配列などの公開データベースには多様な医学関連のデータが蓄積がすすみ、その活用、特に有用な知識の抽出・獲得・発見への期待は大きい。データそのものはニュートラルであるのに対し、知識には常に「誰にとっての」という視点が不可欠であり、医学データからの医学知識発見は、特にデータの提供、課題設定、解釈、評価の段階における医学専門家の関与なしには成し遂げられないため、データからパターンやモデルを学習する技法だけでなく多忙な専門家との共同作業が課題となる。

今回は医学分野における知識発見のプロセス、医学データの特性と諸課題を概観し、肝炎に関する医学データマイニングの取り組みを紹介しながら、データから知識に近づくための統合アプローチを提案する。

The slides are written in English.
Foreign audience is welcome!



エントランスホールは知識講義棟1F、中講義室の真下
学生課前の階段を下りた先です



学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人: 鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉